

住之江区南港北1丁目地先



図2 費用便益分析の概要

(3 事業の必要性の視点 ③費用便益分析)

建設期間：平成22年度～令和3年度

基準年度：令和元年度

評価期間：建設期間+40年

(平成22年度～令和43年度)

社会的割引率：4%

便益(現在価値) (単位：億円)

歩行時間短縮便益	14.2
歩行者移動サービス向上便益	5.0
上下移動快適性便益	0.3
便益総額	19.5

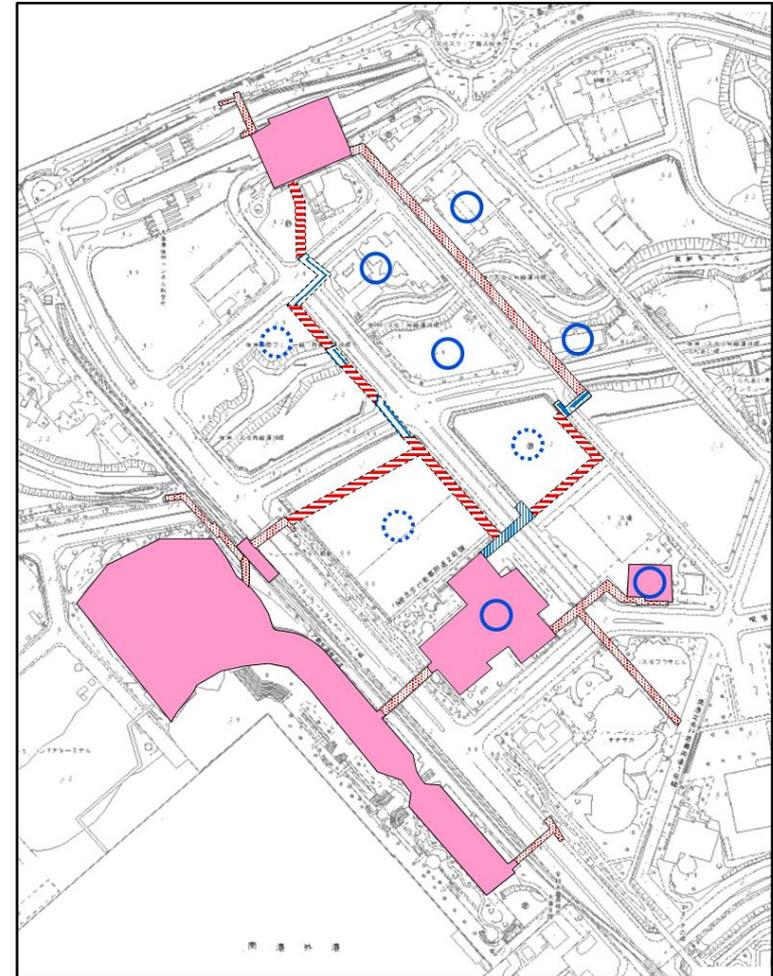
費用(現在価値) (単位：億円)

用地費	0.1
施設建設費	12.3
維持管理費	0.9
費用総額	13.3

費用便益比

(便益総額の現在価値) / (費用総額の現在価値)

= 1.47



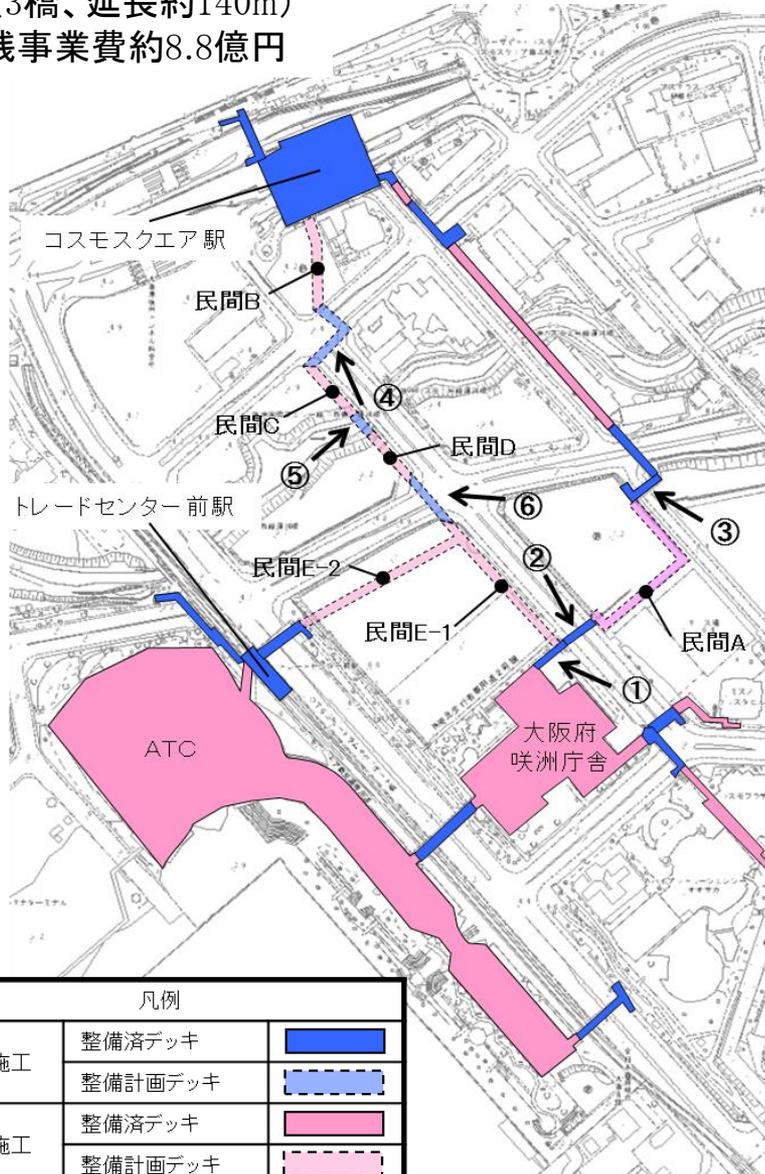
-  ペDESTリアンデッキ (未整備)
-  ペDESTリアンデッキ (整備済み)
-  民間で整備するペDESTリアンデッキ
-  既存の整備済みペDESTリアンデッキ
-  主な建築物
-  便益計算に用いた歩行者の発生集中する施設 (既設)
-  " (未整備施設)

図3 進捗状況

(4 事業の実現見通しの視点 ③事業規模)

残事業の内容

- ・ペDESTリアンデッキ
(3橋、延長約140m)
- ・残事業費約8.8億円



① 咲洲庁舎連絡通路



② コスモ1号線横断部



③ コスモ2号線横断部



④ コスモ国際フェリー線横断部



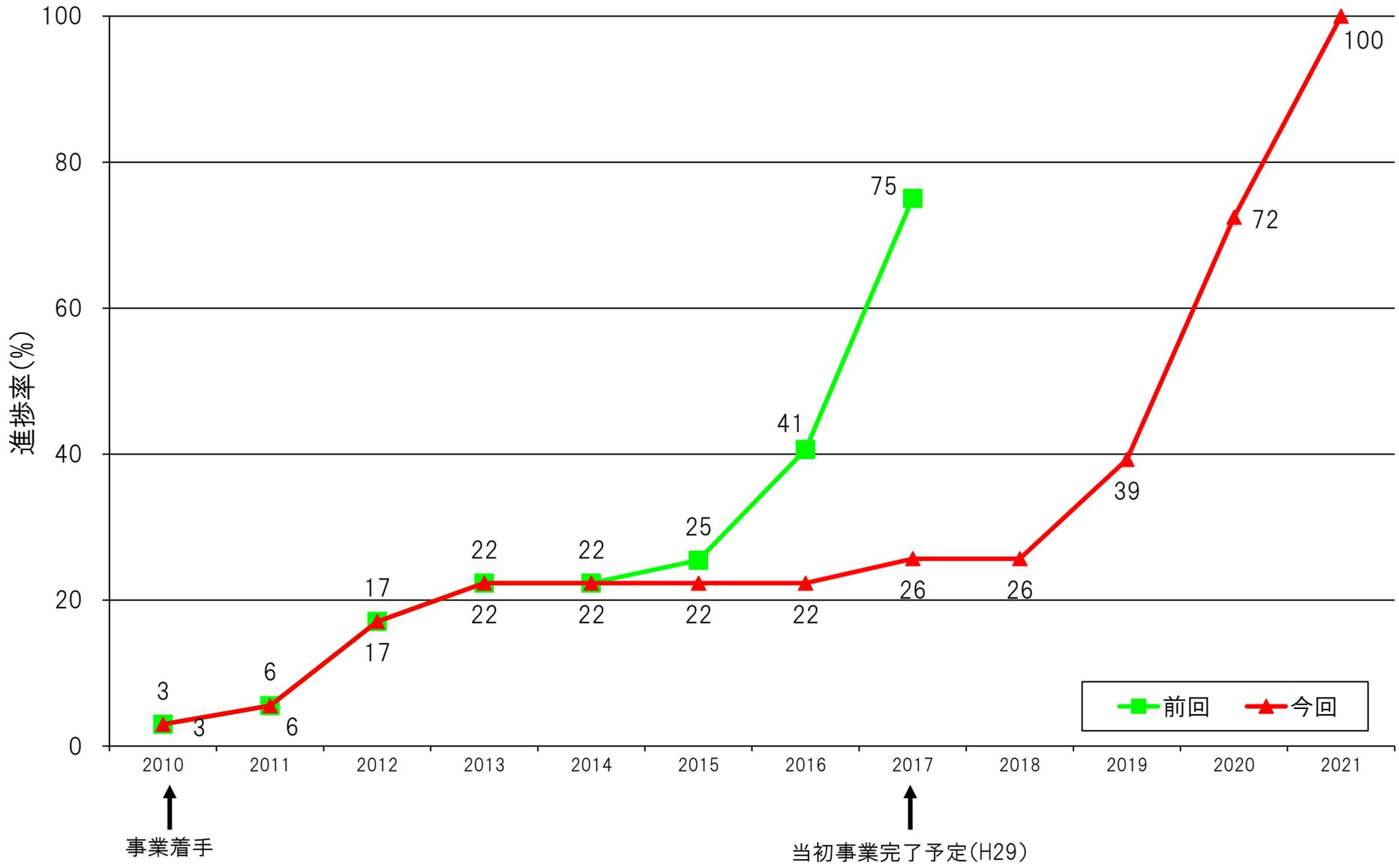
⑤ 咲洲運河横断部



⑥ コスモ中央線横断部

図4 進捗率の推移

(4 事業の実現見通しの視点 ③全体事業費)



※事業進捗率は現在の総事業費(約12億円)を100%として計算している 6